

令和4年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価報告書

令和4年9月

常総市教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を議会に提出するとともに公表する。

2 点検及び評価の対象

令和3年度常総市教育運営方針に掲げる事務事業

3 点検及び評価の方法

(1) 令和3年度常総市教育運営方針の重点事項に対する主な取組、成果等を取りまとめ、常総市教育審査委員の相互的な評価を受けた。

(2) 令和3年度常総市教育運営方針に基づく当該年度の事務の管理及び執行の状況を項目別に整理し、達成度を3段階で自主点検するとともに、これに対する今後の方向性を示した上で、常総市教育審査委員が、その有効性を3段階で評価し、意見等を付した。

○ご意見をいただいた学識経験者

(順不同、敬称略)

秋 田 武	元常総市立三妻小学校長
豊 田 幸 裕	元常総市立石下小学校長

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を実施したので、次のとおり報告する。

令和4年8月29日

常総市教育審査委員 秋 田 武

常総市教育審査委員 豊 田 幸 裕

各施策目標の重点事項に対する主な取組, 成果等及び教育審査委員の評価

1 未来に夢をもち 「生きる力」を育む 学校教育の充実

○ 学習指導要領改訂の方向性を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」に向けた指導を充実し、教員の指導力の向上と指導のための環境整備, 拡充を図る。(指導課)

【主な取組, 成果等】

・カリキュラム・マネジメントに基づいた指導計画の改善についての指導・助言を行った。また、各種訪問時において「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業づくりに関わることで、教員の指導力向上を図った。

○ 外国語教育の充実に向けて指導力の向上を図る。(指導課)

【主な取組, 成果等】

・外国語科の指導方法と評価についての指導・助言や情報提供を行った。市内小中学校へ11名のALT講師を計画的に派遣し、指導支援を行った。

○ 土曜日補習教室(常総ほっとサタデー教室)の活用を促進させ、学習につまずきがみられる児童に対して、学校や保護者との連携を図りながら学習支援を行う。(指導課)

【主な取組, 成果等】

・毎週火, 水, 木, 土の4日間開室することができた。登録者数は184名であった。基礎学力の向上と学習習慣の定着を図ることができた。また、指導員と保護者との情報交換をすることで、信頼関係のもとで児童の学習支援を行うことができた。

2 安全でいきいき学べる教育環境の創造

○ 学校施設の老朽化対策等を進め、教育環境の整備を推進する。(学校教育課)

【主な取組, 成果等】

・各学校からの営繕要望による施設の修繕や点検業者からの報告書等により、設備を適切に整備, 維持管理し、安全でいきいきと学べる教育環境の整備に努めた。

○ 危機意識を育てる防災教育を推進する。(指導課)

【主な取組, 成果等】

・市内各小中学校において「危機管理マニュアル」の見直しを行い、防災計画のもとに不審者・火災・洪水等の避難訓練を実施し、防災意識の高揚を図った。

3 市民の豊かな暮らしを支える生涯学習の推進

○ それぞれのライフステージに応じた多様な学習機会を充実させ、生涯にわたる学習の継続による一人ひとりの資質・能力の向上を目指す生涯学習を推進する。

（生涯学習課）

【主な取組, 成果等】

・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い受講者の安全に配慮しながら、前期（6～11月）に8講座（ふろしき講座・絵手紙講座・ボールペン字講座・自力整体講座・常総市を知ろう前期講座・プリザーブドフラワー講座・フラワーアレンジメント講座・古典講座）を、後期（12～3月）に6講座（常総市を知ろう後期講座・エクセル講座・筆ペン講座・ボタニカルキャンドル作り講座・簡単ヨガ講座・フットコンディショニング講座）を開催した。

・講座終了後は受講者自らが継続して学習できるよう自主運営の支援（組織づくりや会場借用手続きの助言）を行った。

○ 地域交流センターを中心に関連施設と連携した事業を展開することにより、市内外の交流を促進する。（生涯学習課）

【主な取組, 成果等】

・車両の展示など交流イベントの会場として当館専用駐車場を提供し、周辺施設の利用促進を図った。

・当館のライトアップにより季節に応じた景観を演出し、地域のランドマークとしての注目度向上を図った。

・市民一人ひとりが自らの災害リスクを把握し、今後も起こりうる災害への対応について考えていただく一助として、国土交通省関東整備局下館河川事務所と連携して水害関連資料の展示スペースにマイ・タイムライン作成を体験できる機器を導入するなど施設の充実を図った。

○ 市民の自主的文化・芸術活動を支援する。また、再生の出来ない郷土遺産の保全、歴史的建造物、資料等の利活用を推進する。（生涯学習課）

【主な取組, 成果等】

・「長塚節文学賞」の作品を広く募集し、入選作品集の刊行も行うなど「節のふるさと常総」の文化を全国に発信した。

○ 青少年育成常総市民会議や青少年相談員の全市的な連携，子ども会組織の円滑な運営を支援する。(生涯学習課)

【主な取組，成果等】

・青少年育成常総市民会議および青少年相談員会との共催で，青少年の広い視野を持った考え方や柔軟な発想力・想像力の向上を図るため，新型コロナウイルス感染症の影響により開催方法を動画審査に変更して「少年の主張大会」を開催した。

・常総市子ども会育成連合会による安全共済会事務取扱等を支援し，子ども組織の円滑な運営を支援することにより，心身ともに健やかな青少年の育成を図った。

4 市民の健康を増進する生涯スポーツの振興

○ 誰もが生涯を通じてスポーツを楽しみ，健康づくりを進める生涯スポーツ社会の実現を目指し，安全で安心なスポーツ環境の提供及び整備に努める。(生涯学習課)

【主な取組，成果等】

・安全で安心なスポーツ環境を利用者に提供するため，また避難所としても指定されている水海道及び石下総合体育館の消防設備，その他不具合箇所の修繕を実施し，緊急時に対する充実を図った。

○ 指定管理者との連携による社会体育施設の円滑な管理運営を図るとともに，民間のノウハウを活用したスポーツ事業を推進する。(生涯学習課)

【主な取組，成果等】

・市民の誰もが気軽に参加できるようなスポーツ教室を実施するために，社会体育施設の指定管理者である「ミズノグループ」に業務委託をすることで，事務の削減・効率化の実現ができた。

また，ノウハウを生かしたことで，より充実した内容となり，質の高い適切な指導者の確保が可能になった。

5 健康を増進する食育の充実

○ 安全・安心な学校給食の提供と食育の更なる推進を図る。(学校給食センター)

【主な取組, 成果等】

- ・給食センターの従事者(学校含む)に対し通常の保菌検査(毎月2回)やノロウイルス検査(10月～3月, 毎月1回)を実施し, 衛生管理の向上を図った。
- ・常総市産の旬の食材を活用し, 地産地消の推進を図った。
- ・栄養教諭を中心に, 給食時訪問, 家庭教育学級(講話)を実施し, 児童生徒及び保護者等に対し食育の推進を図った。
- ・食物アレルギーや宗教上の理由などで同じ給食を食べられない子供たちにも, みんなで一緒に食べる学校給食の楽しさの共有と多文化への相互理解のため, 提供する食材に配慮した「みんなでスマイル給食の日」を実施した。

6 心豊かにする読書教育の充実

○ 本に親しむ習慣の定着と質・量の向上を図る。(指導課)

【主な取組, 成果等】

- ・「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」を実施し, 年間で小学校は50冊と300冊, 中学校は30冊と150冊以上の本を読んだ児童生徒への県教育委員会教育長賞・県知事賞表彰を行った。達成者数, 小学校の50冊で67.6%に達した。中学校の30冊は10%に達したが, 小学校300冊と中学校の150冊は10%以下であった。

○ 市立図書館と学校図書館等との緊密な連携を図る。(図書館)

【主な取組, 成果等】

- ・幼稚園, 保育所, 小学校に読み聞かせボランティアの派遣を予定していたが, コロナ感染症拡大の影響により年間を通しての実施はできなかった。
- ・読み聞かせボランティア育成の研修会を2回開催(初級編・応用編)し, ボランティアの技能向上に努めた。
- ・コロナ感染症の拡大により, 例年夏休み期間中に学校で企画する職場体験は中止となってしまった。
- ・小学生の図書館見学については, 3校(水海道小・大花羽小・岡田小)から依頼があり実施した。また, コロナ禍でも対応できる図書館見学に替わる事業として昨年度から実施している職員が学校に出向いて行う図書館出前講座についても3校(三妻小・豊岡小・菅生小)において実施した。

○ 市民が知る喜びや学ぶ楽しさを実感できる図書館を目指し、幅広い資料の収集と、レファレンスサービス等の充実に努め、利用促進を図る。(図書館)

【主な取組, 成果等】

- ・ 図書 6,101 冊・CD 274 点を新たに収集し、雑誌は 131 タイトルの収集を継続した。
- ・ 相互貸借制度による他館からの借受は 310 点、当館からの貸出は 134 点であった。
- ・ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用や、オンラインによる講習会の受講及び利用者から受けたレファレンスについては、司書だけでなく全員で共有してレファレンスサービスの技術を学んだ。

7 安心して子育てできる就学前教育の充実

○ 幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図る。(指導課)

【主な取組, 成果等】

- ・ 保幼小接続のための合同研修を実施した。(本年度は集会による研修を見送り、書面にて研修動画の視聴と接続状況の把握のためのアンケートを実施した。)
- ・ 小学校と幼児教育施設での相互授業参観及び情報交流を推進し、相互の接続カリキュラムを共有し、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を踏まえた円滑な接続を図った。

○ 親子の絆づくりを考えた就学前家庭教育の充実を図る。

【主な取組, 成果等】 (生涯学習課)

- ・ 幼稚園、保育園において子どもとのかかわりや家庭生活のあり方を学習し、家庭教育力の向上を図るために資料配布を実施した。

総合評価

「未来に夢をもち 『生きる力』を育む 学校教育の充実」について

- コロナ禍において様々な行事の中止・簡略化が大きな流れとなっている。本来、学校教育は一つ一つの行事にも思いを込めて、子ども達の知徳体を育むことにあると考える。優先順位付けと重点化を図り「子ども達の成長に熱い思いを込める・伝える」ことがコロナ禍後に大切と思われる。各校の良き伝統が少しでもつながるような指導・助言をお願いしたい。
- 「主体的・対話的で深い学び」の基盤となる各学年毎に身に付けるべき基礎基本の定着が大切である。次の学年での学びの土台はしっかりと身に付けさせたい。授業のねらいを明確化して、「基礎基本を定着させることに重点をおいた授業」とその発展として「主体的・対話的で深い学びに重点をおいた授業」の展開のため、指導力の向上に努めていただきたい。
- 外国語教育の充実のために、担任とALTの役割を明確にし、適切に指導と評価ができるよう指導・助言をしていただきたい。
- 「常総ほっとサタデー教室」の効果的な活用の為に、学校行事（授業参観等）とのすり合わせや児童クラブとの連携を求めたい。また開室校5校以外の学校の児童が利用しやすくなるための手立てについても配慮していただきたい。

「安全でいきいき学べる教育環境の創造」について

- 学校施設の老朽化対策については、定期的に点検を行いながら計画的に修繕等を行い、安全安心な環境整備に努められたい。
- 防災教育については、危機管理マニュアルを見直しながら実効性のある避難訓練等の実施に努め、防災意識の高揚を図られたい。

「市民の豊かなくらしを支える生涯学習の推進」について

- コロナ禍においても、利用者の制限や健康チェックシートの活用など工夫した取り組みに敬意を表したい。さらにインターネット環境や大型スクリーンなどを活用した取り組み、屋外でのイベントなど、何ができるかという発想を大切にしていきたい。
- 「郷土愛」を高めるために、学校行事や授業での施設活用、連携を進めていただきたい。また、「千姫の遺跡や史実」「飯沼干拓史」など郷土の発展にも目を向けられるよう地域交流センターの歴史的な資料の更なる活用を図られたい。
- 青少年の健全育成のために、関係機関との連携をさらに推進されたい。

「市民の健康を増進する生涯スポーツの振興」について

- 市民が生涯を通してスポーツに親しみライフステージに応じた健康づくりを進めるために安全安心な施設の管理・整備に努められたい。
- 指定管理者との連携により、市民が求める質の高い多様なスポーツ教室の開催などに尽力されたい。

「健康を増進する食育の充実」について

- 安全・安心な学校給食の提供のための衛生管理及び施設設備の安全点検を定期的に実施していただきたい。
- 食育については、栄養教諭による給食指導の実施や保護者等への情報提供に努め、さらなる食育の推進を図られたい。

「心豊かにする読書教育の充実」について

- 本に親しむ習慣の定着のため「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」を継続するとともに読書の質の向上のため、読書活動の活性化を図る取り組みを工夫されたい。
- 広く市民が図書館を利用できるよう図書館分館の設置や図書館巡回バスの運用等についても検討されたい。
- 市立図書館と地域交流センター図書室との連携についてもさらに工夫されたい。
- 市民が求める図書館とするため、図書館情報の積極的発信及びレファレンスサービスの充実に努められたい。

「安心して子育てできる就学前教育の充実」について

- 就学指導にもつながる情報共有や保護者の安心につながる教育相談の実施に努めていただきたい。
- 外国籍幼児（来日してすぐの子ども達）の適応指導にも配慮が必要だと感じる。一人一人が安心して幼稚園生活を送れるよう、外国人支援員の増員を望む。

個別事業に対する主な取組、成果等及び教育審査委員の評価

達成度 計画又は目標を ○ 達成又は概ね達成 △ 及ばず × 実施できず	有効性 ◎ 成果がある ○ 一定の成果がある × 成果がほとんどない
------------------------------------------------------	----------------------------------------------------

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見

1 未来に夢をもち 「生きる力」を育む 学校教育の充実						
	①学校教育内容の充実 新たな教育課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・教育補助員や外国人児童生徒支援員を配置し、効果的な活用を図っている。 ・適応指導教室と学校との連携を図ることで、不登校児童生徒への支援にあたっている。 	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・深い学びにつながる為に、各学年の基礎的基本的な知識技能の定着にも重点を置いていただきたい。 ・インクルーシブ教育の推進により、支援対象となる児童・生徒が増えている為、教育補助員のさらなる充実を求める。 ・常総ほっとサタデー教室の活用充実の為、開設校等の行事などとの調整を図っていただきたい。 ・タブレット端末の活用に当たり、児童生徒の家庭でのWi-Fi環境にも配慮していただきたい。また、印刷コストも考慮していただきたい。 ・就学指導に当たっては、児童の自立支援を第一として、特別支援教室への体験入学や継続的な相談、特別支援学校との連携を実施していただきたい。 ・学校選択制においては、学校適正化配置実施計画の情報発信も必要である。 ・若手教員の育成に当たり、悩み事を相談できる場やメンター（助言者・相談者）制度なども必要と考える。
	基礎学力の向上	土曜日補習教室（常総ほっとサタデー教室）を開室することで、学習のつまずきを補い、学習習慣が身に付くように支援している。	○	継続	◎	
	体験的地域学習の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる中学生議会を開催し、中学生の視点から市政へ提案することで、市政を身近なものとして捉えられる機会となった。 ・地域の環境や資源を教材に、地域の人材を活用する体験学習を充実させる。 	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	情報化社会への対応	1人1台端末を導入し、端末を活用した指導方法の研究の充実を図っている。またオンラインによる学習への対応ができた。	○	継続	◎	
	交流教育・国際教育の推進	外国語活動・外国語科の授業において、ALTの協力を得ながら、言葉や異文化の違いについて理解を深めた。	○	継続	◎	
	特別支援教育の充実	市保健推進課や市内幼稚園・保育園等の関係施設と連携し、年長児の保護者（希望者）との就学相談を実施した。学校見学の機会を提供し、適切な就学先が見いだせるよう助言・支援した。	○	継続	◎	
	教職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次，3年次教員への訪問指導を実施し，教科等の課題解決のための助言・指導を適宜行った。 ・「JOSO若手教員アカデミー」において，見識を深めるとともに若手教員間の情報共有の場となった。 	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②健康な児童生徒の育成						
	教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室にスクールカウンセラー（ＳＣ）を5名配置。毎日ＳＣを配置し、児童生徒や保護者の教育相談を行った。ＳＣ以外にも相談員1名、指導員4名を配置し学習支援や自立に向けた支援を行った。通室児童生徒は24名。3年生は全員高校へ進学できた。学校に登校できるようになった児童生徒は7人（部分登校や放課後登校を含む） ・心の教室相談員を各中学校1名配置し、生徒や保護者の教育相談を行った。 	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ＳＣの活用（相談時間）では、児童生徒・保護者の相談しやすい時間帯へのスライドなどの配慮が求められる。 ・適応指導教室と学校との連携について、担任教師の関わり方などの連携を深めていただきたい。
	体力向上及び健康管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・体育的行事はコロナ対策のため縮小した。（運動会の半日開催やブロック開催） ・コロナ感染症やインフルエンザ感染症対策に向けてマスク着用や手洗い、定期的な換気を呼びかけた。 	○	継続	◎	
	基本的な生活習慣の確立と豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・各校によるあいさつ運動を実施した。 ・道徳教育において感染症に関わるいじめ・中傷等を予防する視点での取り組みを行った。 	○	継続	◎	
③校種間・高等教育機関との連携						
	校種間の協力・連携	市内一斉防災学習での小・中学校間の協力・連携を図っているが、感染防止対策として中止した。	△	継続	○	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区での避難訓練など、地域防災の観点からも、小・中学校間の連携に努めていただきたい。 ・情報教育では、市内小学校・中学校同士のリモート授業や生徒会活動の相互発表など、インターネット環境のさらなる活用を図っていただきたい。
	高等教育機関等との連携	プログラミング教育や遠隔教育において大学や企業との連携を図った。	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
2 安全でいきいき学べる教育環境の創造						
①学校教育環境の整備						
	いきいき学べる教育環境づくり	【市立小中学校の適正配置の検討】 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月に「常総市立学校適正配置実施計画検討委員会」を設置し、市内19校を対象とした学校適正配置の議論を開始し、令和3年度は合計6回の会議を開催した。 令和4年3月30日に検討委員会から第一次答申を受け取り、令和4年5月に「常総市立小中学校適正配置実施計画」を策定し、公表した。現在、令和5年4月からの統合を目標に、大花羽小学校・菅原小学校の統合準備委員会を設置し、協議を開始した。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 小学校における複式学級の解消、中学校における単学級の解消に向けて、保護者や地域住民など関係者への説明を順次実施する。 あわせて、持続可能な学校運営を行うため、長期的な視点での学校適正配置の検討を進めていく。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の適正配置の実施に当たっては、保護者や地域住民への説明を適宜行い、十分な理解が得られるように努めていただきたい。 学校施設の修繕については、年次計画に基づいて計画的に進めていただきたい。 児童生徒がタブレットを活用した学習がスムーズに進められるようにICT支援員の増員を行うなどさらなる支援をしていただきたい。 通学路の安全対策を積極的に進めたことは評価できる。残された箇所については、関係機関と連携しながら計画的に安全対策をしていただきたい。
	学校の安全対策の強化	危険箇所及び老朽化した施設の修繕・工事を実施した。 小学校14校 修繕料 17,345千円 工事費 71,220千円 中学校 5校 修繕料 5,767千円 工事費 11,074千円	○	適宜、修繕・工事を実施するとともに、適正配置計画に基づき校舎等の改修を進めていく。	◎	
	学校情報化の推進	【GIGAスクール構想の推進】 <ul style="list-style-type: none"> GIGAスクールサポーター（ICT支援員）の配置 小：2,284,063円 中：815,737円 AIドリルの導入 小：8,865,537円 中：3,166,263円 授業目的公衆送信補償金制度への全児童生徒分加入 小：93,404円 中：88,119円 	○	令和2年度に整備したGIGAスクールパソコンを活用し、学校におけるICTの効果的な活用方法を指導課及び学校と協議しながら、引き続き推進していく。	◎	
	備品等の整備	<ul style="list-style-type: none"> 一般備品購入 8,746千円 教材備品購入 14,287千円 図書購入 5,461千円 	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	通学環境の整備	小中学校の通学路の安全確保に向けた取組については「常総市通学路交通安全プログラム」に基づき関係機関が連携して安全確保を図ってる。今年度は令和3年6月28日に千葉県八街市で発生した小学生の死傷事故に鑑み、例年は市内を東西に分けて隔年で実施している安全点検を、市内小中学校全校を対象として実施。関係機関による点検後、通学路安全推進会議を開催し、対応策を協議した。危険箇所のうち92箇所について安全対策を実施、31箇所については令和4年度以降実施予定。	△	関係機関や関係課と連絡を密にし、通学路の安全確保に努める。	○	
	就学支援の充実	経済的理由による就学困難な児童及び生徒の保護者に対する就学援助を行った。	○	継続	◎	
	学校事務の共同実施の推進	学校事務担当者がグループを構成し、事務書類の相互検閲、当市初赴任者や経験の浅い事務職員への支援、市会計や年末調整等についての研修を行い、事務処理の適正化やスキルアップ向上を図っている。また学校事務の改善に向けて、市と協議を設け、現場の声を踏まえなら事務簡素化に繋げた。	○	継続	◎	
	②防災・安全教育の充実	各学校において「危機管理マニュアル」を随時見直すと共に、洪水・火災・不審者等を想定した避難訓練を計画・実施した。	○	継続	◎	・危機管理マニュアルを継続的に見直しながら実効的な避難訓練等の実施に努められたい。
	③地域と連携する学校運営	「学校評議員制度」により各学校において地域の関係者が学校評価に関わり、客観的な外部評価や意見を取り入れ、学校運営上の課題の把握と改善に努めた。	○	継続	◎	・多様な視点からの学校評価を生かし、地域に求められる学校づくりをしていただきたい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
3 市民の豊かな暮らしを支える生涯学習の推進						
①生涯学習の充実						
	推進組織づくり	・地域女性団体連絡会をはじめ社会教育諸団体への活動支援。 ・地域連携事業における地域で活躍する人材の確保および指導者としての活用。	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での14講座実施した取り組みに、敬意を表したい。アクリル板や座席指定などを工夫して、市民の交流の場として、さらに施設利用を促進していただきたい。 ・「地域交流センター」では、旧町民体育館撤去後跡地の駐車場への整備など、スムーズな対応を図っていただきたい。 ・公民館まつりでは、入場者数の限定や屋外での活動にも目を向けて、開催の方向性を検討していただきたい。
	学習情報の提供	・広報紙やホームページ、全戸配布チラシを活用し、講座の受講生募集やイベントの案内情報を提供。 ・各施設の利用団体（サークル）をリスト化し、各施設へ掲示したほかホームページや講座募集チラシに掲載して紹介。 団体数 127団体（R3.4.1時点）	○	継続	◎	
	学習施設の機能充実	交流拠点としての整備や老朽化による不良個所の修繕を実施。 ＜生涯学習センター＞ 空調設備更新工事準備	○	計画的に修繕を実施していく	◎	
	施設の有効利用	各種講座・イベント・団体の研修等に利用 生涯学習センター：31,698人 地域交流センター：22,472人	○	引き続き施設の有効利用を図る。	◎	
	学習プログラムの提供	ボールペン字、フラワーアレンジメント、ヨガなど計14講座を開講。 受講者計：163人	○	受講者の意見やアンケート結果を反映した講座の開催。	◎	
	自主企画の推進	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自主企画は実施せず。	△	コロナの影響により実施出来なかったが、継続する。	○	
	地域課題対応の活動推進	新型コロナウイルス感染症の影響により資料配布での対応が多いが、市内小中学校(19校)において一部通常通りの家庭教育学級を開催した。	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	公民館活動の推進	公民館まつりの開催等の自主事業の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、実施出来なかった。	△	コロナの影響により実施出来なかったが、継続する。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校4年生社会科の教材として、「郷土資料館」「民俗資料館」の活用や「社会科副読本」への掲載など、学校教育との連携を図っていただきたい。 ・子ども達の郷土愛を育む取り組みを、さらに工夫していただきたい。
②地域文化の醸成						
	文化芸術振興基本計画の推進	既存事業の継続と情報発信を実施。	○	継続	◎	
	文化事業の推進	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市民文化祭・芸術文化のつどいは中止。	△	継続	○	
	地域文化情報の発信	第24回長塚節文学賞 (応募作品数) 短編小説部門 181点 短歌部門 3,694点 俳句部門 5,065点	○	継続	◎	
	郷土遺産の調査・保護の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定重要文化財「坂野家住宅」の主屋や表門の屋根を国の文化財関係補助事業を活用し修繕を行った。 ・市内指定文化財等件数 (令和4年3月31日現在) 国指定：1 県指定：9 市指定：53 国登録：3 	○	継続	◎	
	歴史文化等資料の整備と情報提供	常総市デジタルミュージアムによる情報発信を継続	○	継続	◎	
③青少年の育成						
	関係機関・関係団体との連携	青少年相談員会による街頭指導活動や、茨城県青少年育成協会による事業等の他、青少年育成常総市民会議の活動も昨年度に比べると再開しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の実施への影響は大きい。	△	継続	○	<ul style="list-style-type: none"> ・リモート会議などを活用して、中学校相互の交流や関係機関・関係団体との連携を図っていただきたい。 ・「子どもを守る110番の家」の登録では、地図上に登録家庭を表示して、学校通学路沿いなどに重点を置いて進めていただきたい。募集通知回覧板だけでなく、募集方法も工夫していただきたい。受けている家庭と子ども達との交流も図っていただきたい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	育成組織の強化	新型コロナウイルス感染症影響により中止となった事業も多く、依然として影響は大きいですが、開催方法を変更し少年の主張大会を実施した。	△	継続	○	
	学校・家庭・地域との連携	放課後子ども教室について、1校開校した。	△	継続	○	
	活動企画の充実	活動企画については、新型コロナウイルス感染症に見通しがつくまで、新規事業の実施等については見送っている	×	継続	×	
	地域環境の改善	「子どもを守る110番の家」の登録拡充を図り、安全な地域づくりを推進。 登録状況：941件	○	継続	◎	

4 市民の健康を増進する生涯スポーツの振興					
①スポーツ活動の促進					
生涯スポーツの普及	<p>○スポーツ教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催教室募集定員 1,134人 ・申込み数 725人 ・申込み率 63.9% ・事業費 1,100,000円 <p>【スポーツ推進・普及分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ジュニアハンドボール教室 70人 ②レディースゴルフ教室 13人 ③ジュニアゴルフ教室 7人 ④ジュニアバドミントン教室 18人 ⑤卓球教室 14人 <p>【健康推進分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康水泳教室（年間33日間） 541人 ②アクアビクス教室 12人 ③立腰体操教室 11人 ④太極拳教室 19人 ⑤シェイプアップ教室 20人 	○	開催する各種スポーツ教室の種目が定着し、応募者の低下傾向にあるため、今後は市民のニーズに合った新たな種目を検討し実施する。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズにあった魅力的な教室の開催に努めていただきたい。 ・新型コロナウイルス感染症拡大のためイベントや事業が中止されたが、状況を見ながら今後の開催を検討していただきたい。 ・多様なニーズに応じたスポーツの場が提供できるよう広域連携・官民連携をさらに推進していただきたい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	スポーツイベントの開催	新たなプログラムを検討し、常総市スポーツ協会、指定管理者、市の共催で行えるような活気あふれるイベントを計画したが、新型コロナウイルス感染対策により実施まで至らなかった。	△	計画までは検討したが、実施できなかつたため、今後も継続。	○	
	自主企画の推進	市内各種スポーツ団体への活動補助金交付 (7単位団314,000円のうち、2単位団62,000円が事業実施済み) ※5単位団は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業の開催を中止した。	△	継続とするが、来年度を最終交付年度とし、各交付団体には自主的な大会運営を指導する。	○	
	競技スポーツの振興	第1回いきいき茨城ゆめ国体開催記念中学生ハンドボール大会開催 ※新型コロナウイルス感染対策のため未実施。	×	地域の特色あるスポーツとして、大会運営の演出を工夫し、更なる充実と競技力向上に向け継続。	×	
	スポーツにおける広域連携・産官学連携	スポーツに対する多様なニーズや市単独で解決できない課題に対応するため、広域連携かつ官民連携組織として、7市で構成されるプラットフォームを組織した。今年度は、同組織の設立の目的として「スポーツによる地方創生官民連携プラットフォーム」の推進計画の策定を進める。 ※7市：常総市・守谷市・龍ヶ崎市・牛久市・つくばみらい市・取手市・坂東市	○	構成7市が連携し目的を達成するため引き続き継続。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②指導者・活動団体への支援	指導者への支援と確保	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ推進委員活動 <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 @30,000円×16人=480,000円 ・活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ①全国スポーツ推進委員研究協議会 ②市民歩く会 ③その他 各種研修会への参加 ※新型コロナウイルス感染症対策により一部の活動が実施できなかった。 ○スポーツ少年団指導者育成及び確保 <ul style="list-style-type: none"> ・スタートコーチ養成講習会への参加促進 ○スポーツ教室における指導者活用 <ul style="list-style-type: none"> ①柔道教室(スポーツ協会石下柔道部) ②レディースゴルフ教室(スポーツ協会ゴルフ部) ③健康水泳教室(スポーツ推進委員) ④ジュニアハンドボール教室 (スポーツ少年団ハンドボール指導者) ⑤太極拳教室(スポーツ協会太極拳部) ⑥卓球教室(スポーツ協会卓球部) 	○	市内各種スポーツ団体に対し、スポーツに係る情報を積極的に提供し、指導者の育成と資質の向上に努める。更に主催するスポーツにおいて、市内スポーツ団体の指導者を積極的に活用することで、地域の人材育成と指導者の確保を図る。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室において地域の人材を積極的に活用するとともに指導者の育成に努めていただきたい。 ・部活動の地域への移行の受け皿となるよう総合型地域スポーツクラブの拡大に向けて取り組んでいただきたい。
	活動団体への支援	<p>常総市スポーツ協会及び常総市スポーツ少年団の事務局として、加盟するスポーツ団体や会員の交流並びに自主事業の運営を実施。</p> <p>また、団体運営のための補助金申請事務を実施。</p> <p>【補助金交付額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①スポーツ協会 1,800,000円 ②スポーツ少年団 900,000円 <p>【加盟団体数及び会員数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①スポーツ協会 34団体 1,801人 ②スポーツ少年団 33団体 730人 	○	少子高齢化の進む中、自主的な組織運営が図られ、会員の増加に向け継続的に支援を実施する。	◎	
	総合型地域スポーツクラブへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ○活動施設の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育施設の利用許可 ・社会体育施設の優先予約 ○活動事業への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラブ主催事業のお知らせ版への掲載 	○	今後も活動のPR等による支援を継続。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価
			達成度	方向性	有効性 意見
③	スポーツ施設の有効活用				
	スポーツ施設の整備	【指定管理施設整備事業】 ○水海道総合体育館 4件 403,700円 ○きぬ温水プール 8件 2,000,845円 ○吉野サン・ビレッジ 3件 589,380円 ○石下総合体育館 2件 585,200円 ○石下球場 1件 473,550円 ○豊田球場 2件 244,640円 合計 4,297,315円 【指定管理外施設整備事業】 ○豊岡球場 1件 27,195,000円 合計 27,195,000円	○	指定管理者との連携を密にし、利用者への安全・安心なスポーツ環境の提供と満足度の向上を目指し、計画的に整備事業の継続。	◎
	学校体育館の開放	○開放対象施設 ・小学校14校、中学校5校 ○開放時間 ・小学校体育館 平日 18時～22時 土日祝 8時～22時 ・小学校校庭 土日祝 8時～17時 (大生小・飯沼小) 平日 18時～22時 土日祝 8時～22時 ・中学校体育館・武道館 平日 18時～22時 土日祝 8時～22時 ・中学校校庭 土日祝 8時～17時 ○利用団体数 64団体 (一般有料18団体、一般減額3団体、免除43団体) ○利用者 ・体育館 29,463人 ・校庭 6,166人 ・武道館 3,600人 合計 39,229人	○	新型コロナウイルス感染症対策により休館せざるを得ない状況が続きましたが、今後も利用者は増加していくものと思われるため、円滑な開放事業の運営を継続。	◎

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	施設管理・運営体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者による施設の運営管理 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理施設の利用者数 177,835人 ※対前年度 118% ・自主事業（スポーツ教室及びスポーツイベント）開催実績 <ul style="list-style-type: none"> 年間49教室（上期・下期）開催 参加者数 12,378人 ○指定管理者による施設整備実績 <ul style="list-style-type: none"> ・整備件数 52件 ・整備経費 2,499,835円 ○指定管理料 97,750,000円 	○	新型コロナウイルス感染症対策により休館せざるを得ない状況が続きましたが、今後もより多くの市民がスポーツを身近に感じられるよう協力し、継続。	◎	
5	健康を増進する食育の充実					
①	学校給食の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人一人が健康な生活を送るために必要な栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、郷土への関心を深め、自然の恵みや働く人々への感謝の心を養うために地産地消の推進を実施した。 <給食提供数> <ul style="list-style-type: none"> 豊岡12校 1日3,098食：年175回 玉 10校 1日2,851食：年184回 （下妻市3校 1日775食） <献立内容の充実> <ul style="list-style-type: none"> ・給食主任献立会議を行い、児童生徒や学校の要望を取り入れ献立の充実や給食業務の改善を行った。 ・市内統一献立や行事食、郷土料理、世界の料理、リクエスト献立などを給食に取り入れ内容を充実させるとともに、日本や世界の優れた伝統的な食文化についても理解するよう啓発した。 ・「農林水産省国産農水産物販路多様化緊急対策事業」を活用したマダイやイワシ、「下妻市学校給食食育推進協議会」から提供されたローズポークを給食に取り入れた。 <地場産物会議> 各センター年11回 <ul style="list-style-type: none"> ・常総市産 米 100% <li style="padding-left: 40px;">野菜・穀物・肉等含む食材全体 <li style="padding-left: 40px;">豊岡 43.8% <li style="padding-left: 40px;">玉 46.8% ・野菜や生産者を学校掲示物や校内放送で紹介した。 	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消を推進するとともに児童生徒が食への関心を高めることができるよう今後も多様な献立の提供を工夫されたい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		<調理等業務の民間委託> ○豊岡センター調理等業務委託 委託期間 5年 (H29. 1. 1~R3. 12. 31) 3年3カ月 (R4. 1. 1~R7. 3. 31) 委託料 年間 76,009千円 (税込) (12月までは車両代3台分含む) 委託業者 イートランド (株) ○玉センター調理等業務委託 契約期間 3年 (R3. 4. 1~R6. 3. 31) 委託料 年間 70,047千円 (税込) 委託業者 葉隠勇進 (株) ※週、月ミーティングの実施 ※委託業者による調理、配送員の衛生講習 や技術研修の実施及び報告 ※委託業者による巡回指導の実施				
②安全・安心な学校給食の提供		「学校給食衛生管理基準」等に基づいた衛生管理や保 菌検査を実施し、食中毒発生を防止した。給食食材に においても安全・安心な食材の購入に努めた。 <衛生管理> ○衛生検査 (食材, ドア, 手指, 落下菌等) ・県薬剤師会検査センター 各センター年3回実施 検査手数料 各センター216千円 ○害虫等駆除 各センター年12回実施 委託料 豊岡センター429千円 玉センター 419千円 <保菌検査> 対象者: 給食センターの従事者 (学校含む) ○保菌検査 (5項目) 毎月2回 (赤痢・腸チフス・パラチフス・O157・サルモネ ラ) ○ノロウィルス (10~3月) 毎月1回 ・豊岡センター 32人, 1,213千円 ・玉センター 26人, 1,042千円 (下妻市 6人分含む) <安全・安心な食材の使用> ○食材の成分表や原産国, 生産国を確認し, 安全・安 心な食材を購入した。 入札 各センター 年間22回 統一 年間 3回	○	継続	◎	・学校給食衛生管理基準等に基づいて衛生管理を適切に行い, 安全安心な学校給食の提供に努められたい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		<p><施設・調理器機の更新，修繕> 施設や調理器機について適宜修繕・更新を行い，継続して安全に給食を提供した。</p> <p>○豊岡センター 更新 配送車3台18,349千円 修繕 32件 3,799千円</p> <p>○玉センター 更新 スチームコンベクションオーブン 5,313千円 配送用 コンテナ 589千円 修繕 39件 11,747千円</p>				
③学校・家庭・地域との連携		<p>栄養教諭による家庭教育学級や栄養士による給食時間の訪問指導など，学校・家庭・地域社会を含めた連携により，食生活に対する正しい知識を持った児童生徒の育成や，保護者に食習慣の形成と健康づくりについて啓発・推進を行った。</p> <p><栄養教諭による食育指導の実施> 小中学校における食育をさらに充実していくために，発達の段階に合わせた栄養教諭による食育指導を実施した。</p> <p><情報の提供> 地場産物や季節に合った食の最新情報や全国の郷土料理などを献立表に掲載し，給食時間の校内放送用の資料を提供した。</p>	○	継続	◎	・栄養教諭による訪問指導の他，給食献立表・給食だより等を活用した双方向の情報提供を通して，家庭への啓発に努めていただきたい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	④食物アレルギーへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・献立表へ使用食材を記載し、希望者に「アレルギー配合表」を配付し情報を提供した。 ・就学前児童に食物アレルギー調査を行い「食物アレルギー対応マニュアル」を活用し対応した。 ・学校・保護者・給食センターによる三者面談を実施した。 <p><食物アレルギー該当者></p> <p>豊岡センター 25人 ※三者面談 5人</p> <p>玉センター 16人（うち下妻市4名） ※三者面談 6人</p> <p><みんなでスマイル給食の日></p> <p>食物アレルギーや宗教上の理由などで同じ給食を食べられない子供たちにも、みんなで一緒に食べる給食の楽しさの共有と多文化への相互理解のため、食材に配慮した給食を提供した。</p> <p>実施日 豊岡 令和4年1月25、26日 玉 令和4年1月27日</p> <p>給食内容 アレルゲン28品目を除き、動物性食品を含まない献立</p>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーのある児童生徒に適切に対応するとともに、みんなでスマイル給食の日の実施回数を増やすなどしていただきたい。
6	心豊かにする読書教育の充実	①読書教育の充実	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・読書する喜びを味わえるよう読書の量だけでなく、みんなにすすめたい本の紹介など事業の工夫をしていただきたい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②	図書館活動の推進					
	市民ニーズに応えた資料の充実やサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・購入, 寄贈により図書6,101冊・CD274点・雑誌131タイトル・新聞18紙を収集。うち, 図書415冊, CD69点については利用者のリクエストに対応。 ・リサイクルフェアを春秋2回開催。のべ532人参加。 ・一般書・児童書コーナーにおいて毎月特集コーナーを展開した。 	○	【継続】 資料の収集・整理・保存は, 図書館の基本であり, 大切な業務である。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・HPや図書館だより等を活用した新刊図書の紹介や季節やテーマに合わせたコーナーの設置などにより魅力ある図書館運営をさらに進めていただきたい。 ・ブックスタートの他, 小学校入学時に一冊の本を贈るなど読書活動推進のための工夫をしていただきたい。
	ホームページ・インターネット等を活用したサービス提供やレファレンスサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへの情報が, タイムリーになるよう掲載時期に留意した。 ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを活用し利用者に情報提供した。 ・オンラインによる講習会の受講及び利用者から受けたレファレンスについては, 司書だけでなく全員で共有してレファレンスサービスの技術を学んだ。 	○	【継続】 多くの方に情報が伝わるように周知方法をさらに増やしたい。レファレンス業務については, 職員個々の能力向上と後進の育成が必要である。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	子どもの読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・年12回ブックスタート事業を実施。259組の参加者に絵本を配布。 ・小中学校11校の図書室, 公立児童クラブ及び幼稚園への団体貸出を実施。 ・読み聞かせボランティア育成のための研修会を2回開催し, 技能の向上を図った。 	○	【継続】 ボランティアの高齢化に伴い, 新規ボランティア獲得が喫緊の課題である。	◎	
	図書館サービス網の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・相互貸借制度により, 他館から310点を借り受け, 当館からは134点を貸し出した。 ・地域交流センター図書室を介した資料貸出を行った。また, 「お城で返却できます」と広報し, 12月からは図書館の本を地域交流センター図書室でも返却できるようにした。 	○	【継続】 県外図書館との相互貸借についても, 一定の実績がある。地域交流センターでの返却は好評であり, 利用者が増加している。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	施設の維持管理と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚室を文化団体の活動の場や常総ほっとサタデーの教室として提供し、土日祝日には学習室として開放した。（コロナ感染症の拡大により夏季休業期間などの休止有。）また、視聴覚室において、県立自然博物館による移動博物館を開催した。 ・「超高齢化社会における図書館サービス」を題材にした職員研修を行い、今後の図書館をあり方と図書館の活用方法を学んだ。 ・二水会館でのリサイクルフェアに合わせ、中庭を利用した読み聞かせを実施するなど、コロナ禍でもできる事業の開拓と施設の有効活用を図った。 	○	【拡充】 二水会館の利用について、さらにできるものがないか検討する。	◎	

7 安心して子育てできる就学前教育の充実						
区分	事務の内容	管理及び執行の状況	達成度	方向性	有効性	意見
①	子どもの自主性・自立性の芽生えを支援する幼児教育の実施	計画訪問において、発達段階に応じた「遊び」を通して環境に主体的に関わっていく力の育成が図られるよう、授業参観と指導助言を行った。	○	継続	◎	・計画訪問等を通じて、適切な助言、指導を行っていただきたい。
②	保幼小中の積極的な連携	令和元年度より開催していた「保幼小接続のための合同研修会」及び「保幼小連携協議会」は、感染防止対策により、集会による実施を見合わせ、動画研修と保幼小間のカリキュラム等の情報交換のみ行った。	△	継続	○	・就学指導の面でも、情報の共有や相互支援を図っていただきたい。
③	就学前家庭教育の推進	対面講話で行えた学校もあったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から資料配布を行った学校もある。 延べ45回 2,122名	○	企業等での実施も継続する	◎	・学校選択制の観点からも、見学会や行事への参加など、子ども達の意欲向上や保護者の安心につながる対応を図っていただきたい。

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
④多様な保育ニーズへの対応	<p>預かり保育の実施 (実施時間) 平日：教育終了後～午後6時 夏・冬・春休み：午前8時30分～午後6時 (実績) 実施日数：225日 利用者数 おひさま幼稚園 33名 にじいろ幼稚園 71名</p>	○	継続	◎	<p>・夫婦共働きの家庭では、大変心強い対応だと思う。安心して子育てができるように、今後も継続して実施していただきたい。</p>	
⑤教育環境の整備	<p>・危険箇所等の修繕・工事を実施した。 幼稚園2園 修繕料 337千円 工事費 5,571千円</p> <p>・教材備品購入 183千円</p>	○	<p>適宜、修繕・工事を実施。 備品整備は継続</p>	◎	<p>・各園毎に、すぐには改善できない危険箇所もある。年度を越えた計画的な対応を図っていただきたい。</p>	